



まんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

北谷まり子

発行：北谷まり事務所

横浜市保土ヶ谷区

上星川2-1-13

TEL：045-381-1713

FAX：045-381-1716

新年度の予算議会に向けて懇談会を開催

特養老人ホーム倍増など市民要望が一步前進！さらに前へ

2月8日、日本共産党横浜市議団は2018年度予算議会に向けての市政懇談会を平沼記念レストハウスで開きました。56人が参加しました。

保育士の処遇改善へ向けて、市独自助成など進む

はじめに、あらき由美子団長が予算案の特徴を説明し、特別養護老人ホーム整備数(2020年度)2倍化、認知症高齢者グループホーム居住費助成増(2万9800円を最大5万5千円/月)、認可保育所の新設を中心とした待機児童解消策、経験年齢7年以上の全ての保育士に月額4万円上乘せする保育士処遇改善へ独自助成、新たな「教育文化センター」整備へ向けて調査費計上、救急隊4隊(40人)の増隊(国基準に到達)など、市民の声と運動のひろがりの中で実現・前進した市民要望について紹介しました。

大型開発への大判振る舞い…際立つ

一方で、大型開発への大判振る舞いが際立っていると指摘。対前年度比3割増になった施設等整備費約2,500億円のうち、大型公共事業には、新市庁舎整備325億円、高速道路346億円、国際コンテナ戦略港湾など港湾整備に103億円、山下ふ頭再開発に62億円を投じます。その結果、市債発行額は、前年度比300億円増の1716億円にものぼります。

最後に予算審議を通じて、市民むけ施策の前進に向けて、積極的な提案を行い、予算組み替え提案をふくめ全力をあげると決意表明しました。

参加した市民からは次の声が寄せられました。



56人が参加した市政懇談会＝2月8日

給食費値上げやめてなど…18人から

「小児医療費が中3まで拡大されることは歓迎だが、一部負担金は無くしてほしい」「横浜市の教科書採択をもっと開かれたものに」「行政サービスコーナーを廃止しないで」「市民サービスを担う職員を増やしてほしい」「給食費の値上げはやめて」「特養ホーム整備数2倍化は歓迎だが、施設が増えても人材がいないと回らない。介護でも保育分野のように人材確保への独自策をやってほしい」「上郷の貴重な自然が開発によって失われることが決まった。とても残念。失われる自然の調査をやってほしい。古代の貴重な製鉄遺産である深田遺跡の保全をしてほしい」「国道と市道では歩道の高さ基準が違う。市道は歩道の段差が高くて車椅子が渡れない。市道の基準をバリアフリーに」「市の中期計画などの説明会は、各区で昼と夜にやってほしい。」「高所得者の介護保険料を引上げ、低所得者の負担軽減を」など、18人から寄せられました。